



戦争をさせない Anti-War Committee of 1000 1000人委員会

1000人委員会ニュースNo.20

(2015年5月20日号)

〒101-0063東京都千代田区

神田淡路町1-15 塚崎ビル3階

TEL:03-3526-2920

FAX:03-3526-2921

■許すな！戦争法案 戦争をさせない・9条壊すな！ 5・12集会



季節外れの台風が接近する中、約2800人が結集した（日比谷野外音楽堂）

安倍政権は、5月14日に日本を戦争する国にする「戦争法案」11法案を閣議決定しました。この戦争法制定を阻止するため、5月12日、たたかいのスタートとなる「許すな！戦争法案戦争させない・9条壊すな！5.12集会」が東京・日比谷野外音楽堂で開かれました。台風の接近という悪天候の中にも関わらず約2800人が参加。「力を合わせて戦争法案を止めよう」と決意を固めました。

集会前のリレートークでは、様々な運動団体から、現在起こっている問題や運動についての訴えが行われ、沖縄基地問題や教育、医療、秘密保護法などの課題や、女性、青年、宗教者の立場からのアピールも行われました。

集会では、主催者を代表して戦争をさせない1000人委員会呼びかけ人の鎌田慧さんが「安倍政権はウソと権力欲しかない。アメリカの子分になって、愚かな戦争を二度としないよう最後までがんばり抜こう」とあいさつ。各政党からは、民主党の近藤昭一幹事長代理、社民党の吉田忠智党首、日本共産党の小池晃副委員長、生活の党と山本太郎と仲間たちの玉城デニー幹事長らが出席してあいさつを行いました。沖縄社会大衆党の糸数慶子委員長（立憲フ

ォーラム）は、「平和憲法のもとに復帰しようとした沖縄県民100万の民意を裏切り、新たに基地を建設しようとする安倍政権に対し、心から糾弾し、私たちが本当の意味で求めた平和憲法の元への



参加者全員でプラカードを掲げ「戦争法案を廃案に追い込むぞ！」とコール

復帰を、改めて問い直すべきだ。平和憲法が戦後どのような形で成立したのか、改めてその原点に立ち返って頑張っていきたい」と述べ、戦争法案阻止を国会でたたかいぬく決意を表明しました。

ゲストスピーチとして、埼玉大学名誉教授の暉峻淑子（てるおかいつこ）さんが、「今の時代は、先の大戦の前と同じだ。自衛隊派遣で戦死者が出たら戦争反対を言えなくなる。心の底から戦争に反対する決意を固めることが必要だ」と呼び掛けました。また、連帯あいさつで日弁連憲法問題対策本部長代行の山岸良太さんは、「戦争は最大の人権侵害だ」と指摘、さらに日本体育大教授の清水雅彦さん（戦争をさせない 1000 人委員会事務局長代行）は、「こうした仕組み作りを進めて来たのは外務省だ。その目論見を許さない。憲法研究者も法案に反対する声明を出す」と強調しました。

集会後、土砂降りの雨の中を参加者はプラカードや横断幕を持ち、銀座方面のパレード行って「戦争をする国にさせない！」「平和を守ろう！」と元気よくアピールをしました。



1000人委員会呼びかけ人の鎌田慧さん、清水雅彦さん（日本体育大教授）らを先頭に銀座までパレードを行った



鎌田慧さん（ルポライター） 安倍政権とは何か。嘘と権力でしかない。彼は戦争を平和と言い、危険を安全と言い、貧困を繁栄と言っています。こういう嘘つき政権がアメリカに行って、今度の夏には必ず戦争法案を通過させると言ってきました。彼はどこの首相なのか。彼は大統領のつもりのようなのだが、大統領の子分じゃないか。彼は誰のために政治をやっているのか。自衛隊をアメリカの手足にするつもりだ。こういうことは一切許さない。私たちは第二次世界大戦で200万人の世界の犠牲者、そして300万人の日本人を犠牲にしました。もうこういう愚かなことは絶対しない。それがこの70年にわたって憲法を守り

抜いてきた私たちの誓いです。安倍のようなインチキ、いかさま師には絶対負けない、そういう思いをこめて今日の集会があります。5月3日の集会から始めて、全政党、全市民、全労働者の力を合わせて、徹底的に5月、6月、7月と闘い抜いていきましょう。明日も明後日も、私たちは平和な日本を残すために、あの時もっと頑張っておけばよかったと反省しないように、必ず頑張って頑張り抜く、そういう決意で今日のデモを完遂してください。

てるおかいつこ

暉峻淑子さん（埼玉大学名誉教授） 今の日本の状況は、私が経験した

子ども時代の、戦争に突入する前の空気ととても似ています。例えば自衛隊が集団的自衛権で海外に出て、もし誰か一人でも戦死すれば戦争反対と言えなくなるのです。もし戦争反対と言え、名誉の死が犬死にということで失礼に当たると言われるわけです。一人でも軍隊で死んだ人が出たら、「ありがとう、私はあなたに守られて平和に生きている」と言わなければならない。だからまず、社会に物が言えない空気がどんどん押し寄せくる。こういう時には、平和を守りたい戦争には反対だと知らせると同時に、一人一人が心の底から安倍政権のやり方に反対する強い根拠を自分の中に持つことが大事だと思います。私が長く住んでいたベルリンでは、学校の先



生たちが誰にも命令されることなく、音楽の先生は音楽の経験を通して戦争中の悲惨を語る、国語の先生は文学作品を通してその当時の様子を子どもたちに語りかける。社会の先生はもちろんナチス時代のことを子どもたち一人一人に自分の言葉で語りかけている。ベルリンの教育基本法にあたるものにはこう書いてある。『もし権力によって、暴力によって、あるいはお金によって、力で国民を引っ張っていこうという政権、権力が現れた時に、はっきりと自分の考えを言える子どもを育てる』。これは本当に大事なことです。今日のデモも私たち一人一人がこの間違った社会の流れを止める杭になるのだという気持ちで参加したいと思います。



山岸良太さん（日弁連憲法問題対策本部長代行） 弁護士には、弁護士法1条で基本的人権を擁護し社会正義を実現するという使命が与えられています。戦争は最大の人権侵害です。人と人が殺しあうことです。こういうことを許す人の命を粗末にする国に、基本的人権を守り、人々の生活を守ることができるでしょうか。人の命を守る、その一番基本的なところがあってはじめてその上に日々の生活や思想信条の自由があるのです。

自分たちがこの日本で人権を守られて自由に生活できる基盤を国がしっかり守るかどうか。主権者である国民の命を粗末にする、国の為に仕事をしている自衛隊員の命を粗末にする。そして、憲法前文で全世界の国民に平和的生存権を認めているのに、世界の国々の人の命を粗末にする。こういう国が、市民の平和や貧困の問題に本当に手を差し伸べられるでしょうか。憲法9条を守り、人が人を殺すような戦争は二度としない、これを守るこそ、国が日本の人々を大切にすることなのです。弁護士会では、集団的自衛権の行使と戦争法案を阻止するために皆さんと一緒に闘っていきます。

清水雅彦さん（日本体育大学教授） 残念ながら、私の専門である憲法が今まさに否定されようとしています。それに対して憲法研究者として一言発言したいと思います。今の日本の外務省はどうでしょうか。昨年から積極的に集団的自衛権行使容認に突き進もうと動いてきたのが、まさに日本の外務省です。物事を話し合いで解決するのではなく、軍事力で解決しようと考えてきた。日本が戦争する国に向かうように仕向けているわけです。国連の人権理事会では、日本が平和への権利宣言を採択するよう議論しているのに、外務省がそれをアメリカと一緒に反対しているのです。こういう目論見を許すわけにはいきません。



今回の戦争法案、どう考えても憲法9条から出てくるわけがありません。自民党が2012年に改憲案を用意していたように、本来は憲法を変えないとできないことを、閣議決定のような解釈改憲や戦争法という立法改憲で行おうとしているわけです。これに対して私たち憲法研究者は今回の戦争法案に反対声明を出す予定です。60年安保、70年安保を思い出し、安倍首相のおじいさんの岸首相が国民の運動によって退陣を余儀なくされたように、私たちの国会外での闘い



参加者全員でプラカードを掲げ「9条壊すな！」とコール

によって安倍首相を政権の座から引きずり降ろそうではありませんか。私たち憲法研究者も声を上げます。

■5.14 戦争法案閣議決定反対早朝集会



戦争法案の閣議決定に抗議（5月14日、首相官邸前）

戦争をさせない・9条壊すな！総がかり実行委員会は、5月14日、安全保障法制の関連法案が閣議決定されることに抗議するため、朝8時から首相官邸前で抗議集会を行いました。朝早くからの集会にも関わらず、約500人が参加し、1時間以上にわたって抗議の声をあげました。

1000人委員会事務局長の内田雅敏さん（弁護士）は、「戦後70年のキーワードは対米従属とアジアからの孤立だ。95年の村山談話などはアジアに目を向けていた。これは日本の平和資源だ。この平和資源を安倍は対米従属を徹底することで

壊そうとしている」と述べ、戦争法案を許さない決意をアピールしました。

また、解釈で憲法9条を壊すな！実行委員会の高田健さんは、「今まで独自にやってきた様々な運動が、戦争法制を阻止するために結集している。これから国会審議が始まると連日とりくみが目白押しだが、暑さに負けず頑張ろう。9条だけでなく、沖縄、原発、労働法制といった、憲法を破壊する様々な問題に対しても一緒になって闘っていこう」とアピールしました。

【声明】戦争法案の閣議決定を弾劾する

2015年5月14日
戦争をさせない1000人委員会

5月14日午後開催された臨時閣議において、「集団的自衛権」行使に踏み込むための10法一括改「正」案と外国軍の戦闘を支援するための1法案からなる戦争法案が、閣議決定されました。私たち戦争をさせない1000人委員会は、「集団的自衛権」行使容認の閣議決定（昨年7月）の実体化に向けて行われてきた安倍政権の策動について、満腔の怒りをもって弾劾するとともに、戦争法案成立を阻止するためのたたかいに、全力でとりくむことを表明します。

「平和安全法制整備法案」「国際平和支援法案」などと言う、嘘に嘘を重ねた名称でごまかそうしていますが、その内容が戦争加担のためのものであることは明らかです。自衛隊を、恣意的な判断基準によっていつでも、さらに地理的制約をとりはらってどこへでも、戦争参加させることができるようになります。このことによって、いったい誰の「平和」が、誰の「安全」が、担保されるのでしょうか？ まずもって戦地に派遣される自衛隊員が攻撃対象になりかねません。そして、明確に戦争加担に踏み込んだこの日本そのものの立場が問われることでしょう。侵略戦争の果ての敗戦の後の70年間、平和憲法と安保体制の狭間で積み重ねたこの日本の歴史の総決算として、どの道を選択するのか。いままさに、重大な分岐点に至っているのです。



5・12集会で「戦争させない」プラカードを掲げる参加者

平和的外交手段の追求より、軍事的手段を優先するという転換こそが、むしろ危険な事態をもたらすのだという厳然たる事実には一切向き合うことなく、一貫して欺瞞の手口と議会内多数という優位によって事を成そうとする安倍政権は、このまま押し通すことができると考えているのでしょう。しかし、それは大きな間違いです。いま、全国各地で、憲法破壊・人権破壊・生活破壊の安倍政権の暴虐に対する怒りが、大きくひろがりつつあります。3万を超える人びとが参加した「5・3憲法集

会」を思い起こして下さい。人びとが手を取りあい、ともに怒りの声を上げたならば、社会全体を揺り動かすことは可能です。議会内でがんばる野党の皆さんとも協力しながらも、議会外の私たち一人ひとりが、徹底的に力を尽くしてがんばるべきときがやってきたことを、ここで確認したいと思います。

「戦争をさせない・9条壊すな！総がかり行動実行委員会」がこれからの行動を提起しています。戦争をさせない1000人委員会はその一翼を担い、たたかいぬく決意です。全国の皆さん！子どもや孫の世代、そしてほかならぬ私たち自身の平和な未来をつくるために、いまこそ、ともにがんばりましょう！

■みなさんからのメッセージ



5.14 戦争法案閣議決定反対早朝集会にて（首相官邸前）

一 「戦争法案に抵抗する」

安倍の舌 引っこ抜いてよ 閻魔さま
白米を 一口食べて 死にたいと
南の島に 果てた叔父は
空爆で 父母殺されし 孤児あまた
新憲法 発布の喜び 今こそ伝えん
軍事国家から 平和国家への 転換点
いまふたたびの 軍事を憂える
ひ孫の顔を なみだで 汚せず

（非戦の意志を句によせて 中野区・女性）

一 皆さまのご活躍、ご努力に、心から頭がさがります。思うこと考えることばかりで実行できないでいる自分に、イラついてしまいます。基本戦争は不可。人が人を殺し合うなどもつてのほかです。生命を大切に出来ない人間に政治を任せてはなりません。戦争絶対反対です。

（横浜市・女性）

■集会・活動スケジュール

5月20日時点での予定です。
日程変更や緊急の行動呼びかけをさせていただきますことがあります。
行動の詳細は1000人委員会ホームページまたは、「戦争させない・9条壊すな！総がかり行動実行委員会」のウェブサイト <http://sogakari.com/> をご覧頂くか、事務局までお問い合わせください。

毎週木曜日
夜6時30分 5月21日スタート
戦争法案反対国会前集会
5月28日 6月4日 6月11日 6月18日
衆議院第二議員会館前
主催：戦争させない・9条壊すな！総がかり行動実行委員会

- 5月 21日（木）18時30分～ 戦争法案反対国会前集会（毎週木曜日連続行動第1回）
場 所：衆議院第2議員会館前
- 5月 24日（日）14時00分～ 辺野古新基地建設反対！国会包囲行動 場 所：国会周辺
主 催：「5・24首都圏アクションヒューマンチェーン」実行委員会
- ~~5月 25日（月）～26日（火） 沖縄県上京団国会座り込み要請行動 場 所：国会周辺
→中止になりました~~
- 5月 28日（木）18時30分～ 戦争法案反対国会前集会（連続行動第2回）
場 所：衆議院第2議員会館前
- 6月 4日（木）18時30分～ 戦争法案反対国会前集会（連続行動第3回）
場 所：衆議院第2議員会館前
- 6月 11日（木）18時30分～ 戦争法案反対国会前集会（連続行動第4回）
場 所：衆議院第2議員会館前
- 6月 14日（日）14時00分～15時30分 戦争法案反対全国集会（国会包囲行動）
場 所：国会周辺
- 6月 15日（月）～24日（水） 10時00分～17時00分（20日（土）、21日（日）除く）
戦争法案反対・国会前連続座り込み行動
場 所：衆議院第2議員会館前
- 6月 18日（木）18時30分～ 戦争法案反対国会前集会（連続行動第5回）
場 所：衆議院第2議員会館前
- 6月 24日（水）昼から連続 戦争法案反対全国大集会
（国会包囲行動は18時30分～20時00分）
場 所：国会周辺

以降、未定 ※随時更新します

<事務局からのお知らせ> 各地域の取り組み、1000人委員会の立ち上げ、賛同者の皆様のメッセージなどを掲載していきたいと考えています。事務局へ手紙、FAX、メールでお寄せください。紙面の都合上、掲載しきれない場合はご了承ください。